

## My新聞をつくろう!～さんべの体験を「はがき新聞」に～

### 1 趣 旨

- ・ 三瓶青少年交流の家での体験活動を通して、親子で活動することの楽しさを知り、思い出をつくる。
- ・ 新聞の構成などの特徴を知り、自らの体験活動を記事にすることを通して、文章での表現力を高める。(「小学校新学習指導要領」準拠)

### 2 事業の概要

- (1) 期 日 令和3年9月25日(土)～26日(日)【1泊2日】
- (2) 会 場 国立三瓶青少年交流の家
- (3) 共 催 公益財団法人理想教育財団
- (4) 対 象 小学校3年生～6年生とその家族
- (5) 参加者 6家族(19名)
- (6) 日 程

日付	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
9/25(土)			受付	はじめの会 オリエン テーション	昼休 食憩	説明	体験活動	自由時間		BBQ		入浴 自由時間	就寝
9/26(日)	朝食	退所 点検	「はがき新聞」作成		昼休 食憩	ブレ ゼン	講評	解散					

### (7) 講 師

- ・ 徳永 加代 氏 (帝塚山大学 教育学部子ども教育学科准教授) ※オンライン
- ・ 伊東 広路 氏 (読売新聞社大阪本社) ※オンライン
- ・ 和田 倫寛 氏 (NIEアドバイザー)
- ・ 伊藤 雅美 氏 (NIEアドバイザー)

### 3 事業の特色

#### (1) プログラムデザインのポイント

- ・ 体験したことをもとに、親子で「はがき新聞」を共に作りあげることによって、家族の絆を深めた。
- ・ 「はがき新聞作成」では、新聞づくり指導に係る経験と知見が豊富な講師陣を複数名招き、書き方やレイアウトを教わることで、本事業の趣旨の実現と質の向上を目指した。
- ・ 家族一人一人が作った「はがき新聞」をまとめて、家族で一枚の「家族新聞」を作成することで、親子で交流できるようにした。
- ・ 昨年度のA4サイズの新聞から、今年度は「はがき新聞」に変更した。はがき新聞の良さを生かし、お世話になっている人へ向けて作成した「はがき新聞」を郵送できるようにした。

#### (2) 運営のポイント

新型コロナウイルス感染症の予防のため、次のことを行った。

- ・ 研修室の換気の徹底。
- ・ 手洗い及び消毒の徹底。
- ・ マスク着用の徹底。ただし、3密を回避できる状況(屋外での活動等)または、身体的負荷を伴う活動の際は、マスクを外すことも可とした。
- ・ 朝と夜の検温。

## 4 参加者へのアンケート結果

### (1) アンケートの集計

(%)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	100	0	0	0
プログラム	100	0	0	0
運営	83	17	0	0
職員の対応	100	0	0	0

### (2) 参加者の声

- ・自分の気持ちを言葉にして表現し、うまく人に伝えられることはとても大切なスキルだと思います。繰り返しの体験の中で身に付けられるものなので、今日の新聞づくりを家でも工夫しながら続けてみようと思いました。
- ・スクリーンに映し出された「手順」や「コツ」がテキストになって配られると記事を書き出すヒントになるとと思いました。

## 5 成果と課題

### 《成果》

- ・体験したことを振り返るための題材として、「はがき新聞」を採用した。小学校低学年～中学年の参加者は、「はがき新聞」がもつ手軽に書けるという良さから意欲的に作成する姿が見られた。小学校高学年の参加者は、限られた文字数の中で、端的にわかりやすく伝えるためにはどう書けばいいか、文章推敲に時間をかけながら満足いく新聞を作成していた。その結果、小学校低学年～高学年まで幅広く参加できる事業構成となった。
- ・参加者の中で、当施設での「体験」が思い出に残る活動になっただけでなく、アドバイスや講評等を通じて、文章を書くための表現力、加えて「体験」を「経験」に高めていくきっかけになった。
- ・当所の取組に賛同いただいた公益財団法人理想教育財団に共催いただき、講師派遣や物品提供をサポートしていただけたことは大きな成果であった。

### 《課題》

- ・昨年度より始まった本事業では、新聞記事を作成するときに、「新聞の構成などの特徴を知り、自らの体験活動を記事にすることを通して、文章での表現力を高める。『小学校新学習指導要領』準拠)」ことを目指している。今年度はそこに「はがき」という要素を加えて開催した。内容を深めたことで、講義の時間が増えて、新聞作成（実技）にかかる時間が少なくなった。次年度以降、内容を精査し、講義と実技のバランスを考えながら計画していきたい。



体験活動の様子



野外炊飯の様子



新聞作成の様子



完成した「家族新聞」

(担当：企画指導専門職付 福田 将大)